

## V.1. 教員の教育研究・社会貢献活動

(2018年4月1日～2019年3月31日)

### (3) 日本語・日本文化専攻

[日本語学・言語学]

**堀川 智也 (HORIKAWA Tomoya) 教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究

〈共通教育担当科目〉基礎教養科目

〈学部教育担当科目〉日本語学講義、日本語学演習、言語学概論、日本語

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の意味と文法

〈所属学会〉日本言語学会、日本語文法学会、日本語教育学会、日本語学会、日本認知言語学会

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語文法学会大会副委員長、日本認知言語学会理事

**岩井 康雄 (IWAI Yasuo) 教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語・日本文化特別研究A/B、日本語学特別研究A/B、日本語学研究VA、日本語研究指導A/B

[研究活動]

〈研究テーマ〉①語彙カテゴリーと音韻 ②破裂音の有声性

**岸田 泰浩 (KISHIDA Yasuhiro) 教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉対照言語学研究IIA、日本語研究指導A/B、対照言語学特別研究A/B

[研究活動]

〈研究テーマ〉類型論(格、明証性)、コーカサスの言語(アルメニア語、グルジア語)

〈所属学会〉日本言語学会、日本語日本文化教育研究会、ユーラシア言語研究コンソーシアム

[その他の活動]

〈管理運営〉大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム実行委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校日本語教師育成講座講師

**中田 一志 (NAKATA Hitoshi) 教授**

[http://cjl.osaka-u.ac.jp/~hitoshi\\_nakata/](http://cjl.osaka-u.ac.jp/~hitoshi_nakata/)

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究、日本語研究指導

〈日本語日本文化教育センター担当科目〉日本語学講義、日本語日本文化専門演習、自主研究、日本語・日本文化研究指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉現代日本語文法と日本語文法教育

〈所属学会〉日本語日本文化教育研究会、日本語学会、日本語学会、日本語文法学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 編集『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集』第3号 (2019年3月)  
〈論文〉
- ・ 単著「複合接続助詞「ものだから」と自然の摂理」『日本語・日本文化』46、pp. 1-15.  
(2019年3月)
- ・ 単著「「なに」の聞き返し再考」『タイ国日本研究国際シンポジウム2018 論文集』(2019年3月)

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会代表

**今井 忍 (IMAI Shinobu) 教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究ⅣA、日本語研究指導A、日本語研究指導B、日本語学特別研究A、日本語学特別研究B

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の形態法に関する認知言語学的研究

〈所属学会〉日本語学会、日本認知言語学会、国際認知言語学会、関西言語学会、言語処理学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 「動詞の語種とそれが生起する構文—意味論的分析」第3回国際シンポジウム紀要『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』(ハノイ大学) : 18-28  
〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・ 「動詞の語種とそれが生起する構文—意味論的分析」第3回国際シンポジウム『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』(ハノイ大学、2018年10月17日)

〈研究助成〉

- ・ 科研費（基盤研究 (c)）「日本語と英語における語種と複合語の関係から見た借用の一般理論」（課題番号 18K00575）

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター総務委員

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 専門学校日本語教師養成講座講師

### 三原 育子 (MIHARA Ikuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語学研究 I A、日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学特別研究 A、日本語学特別研究 B

〈学部教育担当科目〉 日本語学研究（形態論）、日本語学研究基礎（秋冬）、学部留学生日本語、日本語・日本文化研究指導（以上、於 CJLC）

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語の機能語に関する諸現象について

〈所属学会〉 日本語学会、日本語文法学会、日本言語学会、関西言語学会、日本語教育学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 「言葉から見る日本文化ー表現のウラに潜む文学の教養」 *Interlinking Linguistics and Literature*, edited by Janashruti Chandra, Northern Book Centre, New Delhi, 2018.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 「日本語文法における「文」とは？ー「ヒト」に関わる体系化・システム化ー」大阪大学 ×りそな銀行「業務フロー体系化・情報システム化を日本語学研究者と考える」大阪大学中之島センター.

[その他の活動]

〈管理運営〉 学生交流プログラム検討 WG、Maple 運営 Sub-WG、学生交流推進 WG、CJLC 学務委員会委員長、共同利用拠点日本語連携教育部門長、その他 CJLC における各種 WG 等.

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 「日本語教師養成講座」講師

### 蔦 清行 (TSUTA Kiyoyuki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語学研究 V B、日本語学特別研究 A B、日本語研究指導 A B

〈共通教育担当科目〉 日本語学講義 X、日本語学研究基礎秋冬 6、日本語実習 5A、日本語・日本文化研究指導、自主研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本文献学・古代中世日本の言語と文化

〈所属学会〉 訓点語学会・日本語学会・東方学会・萬葉学会・日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・森田貴之・小山順子・蔦清行編『日本人と中国故事』勉誠出版 2018 年（『アジア遊学』223）

〈論文〉

- ・蔦清行「中世後期の漢故事と抄物」（森田貴之・小山順子・蔦清行編『日本人と中国故事』勉誠出版 2018 年）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「ゾンゾ攷 -文献学的抄物読解-」（2018 年 6 月 30 日第 32 回日本語日本文化教育研究会、大阪大学箕面キャンパス）
- ・「上代語の終助詞ゾの接続 The Syntactic Distribution of Sentence-final Particle zo in Old Japanese」（2018 年 9 月 8 日 NINJAL-Oxford 通時コーパス国際シンポジウム「通時コーパスに基づく日本語文法研究」、国立国語研究所）[EN]

〈研究助成〉

- ・2018 年度科学研究費補助金若手研究 B「中世抄物の註釈の展開—『山谷幻雲抄』『黄氏口義』の比較による—」（研究代表者）
- ・2018 年度科学研究費補助金基盤研究 B「抄物の文献学的研究」（研究分担者）
- ・2018 年度科学研究費補助金基盤研究 C「中世における漢故事のパラフレーズ」（研究分担者）

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 専門学校講師・科研費「抄物の文献学的研究」抄物講習会講師

## 儀利古 幹雄 (GIRIKO Mikio) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語研究指導、日本語学研究

〈共通教育担当科目〉 教養としての日本語

〈学部教育担当科目〉 日本語、日本語学講義、日本語学概論、日本語学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語のアクセント、日本語諸方言における音声的变化

〈所属学会〉 日本言語学会、日本音声学会、日本音韻論学会

## 山泉 実 (YAMAIZUMI Minoru) 講師

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉 対照言語学研究 IA・B

〈共通教育担当科目〉 日本語・日本文化を考える A

〈学部教育担当科目〉 日本語 5、日本語 15、日本語 IIa・b、対照言語学概論、言語学講義 a・b、言語学演習(A)(B)、国語科教育法 VI

### [研究活動]

〈研究テーマ〉 認知意味論・認知語用論

〈所属学会〉 日本語用論学会、日本語文法学会、日本認知言語学会、日本言語学会

### [研究業績]

〈書評・論評・紹介〉

・ 書評：西村義樹編『認知文法論 I』（大修館書店）、『英語教育』67(4): 90.

〈研究助成〉

・ 「コピュラ文名詞句の解釈多様性を扱える認知語用論の構築」（科研費 17K17842、若手研究(B)・研究代表者。2017年4月~継続中）

### [その他の活動]

〈学会活動〉 日本語用論学会 第21回大会運営部員

〈管理運営〉 日専攻総務委員、合同専攻教務委員、合同専攻コンテンツ管理委員、合同専攻ネットワーク管理委員

## 村田 真実 (MURATA Mami) 講師

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学演習 VIII、日本語学研究 III B、日本語学研究 VIB

### [研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語学関連：方言学、社会言語学、音声学、音韻論

〈所属学会〉 日本方言研究会、日本音声学会、日本語学会、日本音韻論学会、日本言語学会、日本行動計量学会、訓点語学会、早稲田日本語学会、文理シナジー学会、日本語日本文化教育研究会

### [研究業績]

〈論文〉

・ 「徳島市における3拍動詞アクセントの変化について —1段活用動詞と5段活用動詞の変化の速度差—」『音声言語の研究』(12)、大阪大学大学院言語文化研究科

### [その他の活動]

〈学会活動〉 日本語日本文化教育研究会事務局

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 専門学校日本語教師養成講座講師

## 小池 康 (KOIKE Yasushi) 助教

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究ⅡA

〈共通教育担当科目〉世界の中の日本語日本文化

〈学部教育担当科目〉日本語学演習Ⅰ、日本語学概論、日本語学講義Ⅰ、日本語Ⅲ、日本語Ⅻ

### [研究活動]

〈研究テーマ〉日本語文法、日本語史

〈所属学会〉日本語学会、計量国語学会、日本語教育学会

### [研究業績]

〈論文〉

・「有対自他動詞の類型性から見た派生過程の考察」『日本語・日本文化研究』28、大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻、pp.1-23、2018年

・「中上級日本語学習者のための作文ガイドブックの開発」木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋、『日本語教育論集』34、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センターpp.41-58（分担 pp.46-48）、2019年

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「文脈に関わる文法・文体に着目した『作文ガイドブック』の開発」木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋、筑波大学 CEGLOC 日本語・日本事情遠隔教育拠点シンポジウム 2019「未来志向の日本語教育」、主催 筑波大学 CEGLOC 日本語・日本事情遠隔教育拠点、2019年2月16日

〈教育活動〉

・「留学生のための日本語作文ガイドブック」<https://nihongosakubun.jimdo.com/>、「引用」部作成

[その他の活動]

〈管理運営〉言語文化研究科入試委員、学務委員

〈社会貢献活動〉出張講義（兵庫県立三田祥雲館高等学校）

[日本語教育学]

## 真嶋 潤子 (MAJIMA Junko) 教授

<https://majimajunko.sakura.ne.jp/bukosite/home.html>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉

日本語教育学実践論 IAB、日本語・日本文化特別研究 AB、日本語教育学研究指導

〈共通教育担当科目〉日本語教育学入門 B

〈学部教育担当科目〉

日本語教育学講義 IIIab、日本語教育学特別演習 IIab、日本語実習 13 (秋冬学期)、日本語教育学演習 a (春夏学期)

[研究活動]

〈研究テーマ〉第二言語習得論、CEFR とその応用、外国にルーツのある児童生徒への言語教育

〈所属学会〉日本語教育学会、母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 学会 (理事)、日本言語政策学会、第二言語習得研究会、アメリカ日本語教師会 (ATJ)、ヨーロッパ日本語教師会 (AJE)、ドイツ語圏大学日本語教育研究会 (Ja-H)、カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)、日本語日本文化教育研究会、大阪大学言語社会学会、コンピュータ利用教育学会 (CIEC)、国立大学日本語教育研究協議会 (理事)

[研究業績]

〈編著〉

- ・真嶋潤子 編著 『母語をなくさない日本語教育は可能か—定住二世児の二言語能力』大阪大学出版会 (2019年2月)
- ・真嶋潤子 編著 科研費研究成果報告書『外国人児童生徒の複数言語能力の縦断的研究—何もなくさない日本語教育を目指して』(平成24年～平成28年度科学研究費補助金 基盤(B) 課題番号24320094) CD版 (2018年6月)

〈論文〉

- ・真嶋潤子 「日本語学習から第二言語習得研究へ」『Interlinking Linguistics and Literature』Northern Book Centre, New Delhi, ISBN: 81-7211-386-2 pp.14-23 (2018年9月)
- ・真嶋潤子 「外国語教育における到達度評価について—CEFR 初版 2001 から 2018 増補版 CEFR-CV まで」『外国語教育のフロンティア』第2号 大阪大学大学院言語文化研究科 pp.1-13. (2019年3月29日)

〈報告書〉

- ・報告書 真嶋潤子 「第1部 基調講演 「移動の世紀」の CEFR-CV - 「Mediation 仲介」背景理論を中心に—」 『シンポジウム 『ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) 増補版と複言語・複文化主義 —変革を求められる日本の外国語教育を巡って—』 南山大学 ヨーロッパ研究センター ラテンアメリカ研究センター (2019年3月31日)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・講演 真嶋潤子 「日本語教育における CEFR と CEFR-CV の受容について」国際研究集会「CEFR の理念と現実」京都大学大学院人間環境学研究科 (2019年3月2日 於：京都大学)
- ・講演 真嶋潤子 「「移動の世紀」の CEFR-CV - 「Mediation 仲介」の背景理論を中心に」南山大学 CEFR-CV シンポジウム (2019年1月12日 於：南山大学)

- ・パネルディスカッション：于濤、友沢昭江、真嶋潤子「外国につながる児童の受け入れに関して」教育研究集会 八尾市立北山本小学校 (2018年11月15日)
- ・講演 真嶋潤子 「外国につながる児童生徒の心の安定と教育」大阪府教育庁教育講演会 平成30年度教育サポーター育成研修 (2018年11月14日 於：大阪府教育センター)
- ・講演 真嶋潤子 「日本語教育の面白さと難しさ」T.E.S.にほんご 30周年記念講演会 (2018年10月13日 於：箕面市国際交流センター)
- ・講演 真嶋潤子・トゥ トゥ スェ エー 「日本で子育てをする国際結婚家庭における親の教育姿勢とその影響-ミャンマー人母親二人の事例比較-」大阪YWCA日本語教師会主催セミナー (2018年9月28日 於：大阪WYCA)
- ・口頭発表 真嶋潤子 「日本の外国語教育へのCEFRのインパクト」ドイツ語圏日本学会 Japanologentag 2018 (2018年8月30日 於：ベルリン自由大学、ドイツ)
- ・教師研修会講師 真嶋潤子 「日本語教育におけるCEFRのインパクトとその深化-初版2001から追加版2018へ」カナダ日本語教育振興会(CAJLE)主催 (2018年8月22日 於：ヒューロン大学、カナダ)
- ・基調講演 真嶋潤子 「学習者の多様性と日本語教育における「評価」-何のために何を持って「評価」するのか-」カナダ日本語教育振興会(CAJLE)年次大会 (2018年8月21日 於：ヒューロン大学、カナダ)
- ・口頭発表 真嶋潤子 「技能実習制度と問題の所在」『外国人技能実習生と日本語教育』2017年度受託研究成果報告会 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻主催、一般財団法人アジア国際交流奨学財団共催 (2018年7月16日 於：大阪大学中之島センター)
- ・講演 真嶋潤子 “Digitalization in Learning Japanese as a Second Language in Japan: Focusing on Learners’ Living Conditions” Japan Science Days 2018, ボーフム大学主催 日独大学フォーラム (2018年7月6日 於：州立言語研究所 LSI, ボーフム大学 Ruhr-Universität Bochum) 【講演は英語】
- ・パネル発表 菅長理恵、高橋登、真嶋潤子、櫻井千穂、小山幾子 「DLAのDAとしての構造-子どもに応じた課題選択の重要性-」パネルテーマ「DLAのダイナミック・アセスメントとしての可能性-アセスを通じて教師力を伸ばす-」日本語教育学会春季大会 (2018年5月26日 於：東京外国語大学)

〈研究助成〉

- ・平成28年度-平成32年度科学研究費補助金基盤研究(B) 研究代表者：伊東祐郎 課題番号：16H03433 「JSL対話型アセスメント DLAの聖地かと外国人児童生徒のための教育的枠組みの構築」 分担研究者
- ・平成29年度-31年度科学研究費補助金基盤研究(C) 代表：櫻井千穂 課題番号：17K0287 「文化言語の多様な子どものための対話型アセスメントの教育的効果に関する実証研



究」分担研究者

- ・ 出版助成 平成30年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 JSPS KAKENHI Grant Number JP18HP5254 研究代表者

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語・日本文化専攻長、講座代表者会議、研究企画推進委員会、計画・評価委員会、大学院入試委員会、キャンパスハラスメントに関する相談員、ASEAN キャンパス WG、協定校コンタクトパーソン（ジョージア大学、ジョージア州立大学、ポーフォーム大学、トロント大学、キエフ国立大学）、CJLC 拠点運営委員会、科研相談員、未来戦略機構リーディング大学院「超域イノベーションプログラム」委員  
〈学会活動〉母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会 理事・事務局長  
〈社会貢献活動〉箕面市国際交流協会理事

## 筒井 佐代 (TSUTSUI Sayo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学基礎論Ⅱ AB、日本語教育学特別研究 AB、日本語研究指導 AB

〈共通教育担当科目〉日本語教育学入門 A

〈学部教育担当科目〉日本語 1、日本語 13、日本語教育学概論、日本語教育学講義 I ab、日本語教育学講義Ⅱ a、日本語教育学特別演習 I ab、日本語教育実習

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の話しことばの研究およびその日本語教育への応用

〈所属学会〉日本語教育学会、社会言語科学会、日本語言語学会、日本語用論学会、国際語用論学会、日本語日本文化教育研究会、社会芸術学会

[研究業績]

〈単著〉

- ・ 『『雑談』的構造分析』筒井佐代（著）・劉丹丹（訳）華東理工大学出版社、2018年11月

〈論文〉

- ・ 筒井佐代 (2019) 「感情表現としての補助動詞の考察-V-テクルを例に-」『外国語教育のフロンティア』2 大阪大学大学院言語文化研究科 pp.127-141

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語教育学会審査・運営協力員、社会芸術学会理事、日本語日本文化教育研究会運営委員

## 小森 万里 (KOMORI Mari) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学研究総論、日本語教育学方法論Ⅱ A、日本語教育学方法論

## II B、日本語研究指導 A、日本語研究指導 B

### [研究活動]

〈研究テーマ〉 アカデミック・ライティング教育、日本語教育のための文法・談話研究

〈所属学会〉 日本語教育学会、専門日本語教育学会、日本文法学会、日本語日本文化教育研究会、日本語教育方法研究会、アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会、日本語／日本語教育研究会、中国語母語話者のための日本語教育研究会、ヨーロッパ日本語教師会、カナダ日本語教育振興会

### [研究業績]

#### 〈論文〉

- ・単著『『日本語教育学概論』履修の意義—留学生と日本人大学生の共通点と相違点—』『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』2018年10月
- ・単著「日本語母語話者と日本語学習者の意見文におけるダロウの使用状況」『日本語／日本語教育研究』9号, 2018年09月
- ・単著「日本語母語話者によるブックレビューの構造分析—日本語教育への応用のための基礎的研究として—」『Interlinking Linguistics and Literature; To Read Japanese Literary Texts』2018年9月
- ・共著「日本語教育実習における遠隔授業見学の有効性と課題」『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』2019年3月・

#### 〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・口頭発表「日本語教育学を専門としない学生は日本語教育系科目から何を学ぶのか」ヴェネツィア 2018年日本語教育国際研究大会, 2018年8月
- ・口頭発表「意見文と学術論文におけるダロウの使用について」タイ国日本研究国際シンポジウム2018, 2018年8月
- ・口頭発表『『日本語教育学概論』履修の意義—留学生と日本人大学生の共通点と相違点—』ベトナム教育訓練省 ハノイ大学 2018年国際シンポジウム, 2018年10月
- ・講演「多文化共生と地域社会～外国人に日本語・日本文化を教える～」兵庫県いなみ野学園 2018年10月
- ・パネル・セッション「日本語教育実習における遠隔授業見学の有効性と課題」第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム, 2018年12月

### [その他の活動]

〈学会活動〉 日本語教育方法研究会運営委員、日本語教育学会審査・運営協力員、アカデミック・ジャパニーズ・グループ幹事、編集委員

#### 〈社会貢献活動〉

大阪 YWCA 専門学校（日本語教師養成講座）講師

## 大和 祐子 (YAMATO Yuko) 准教授

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育方法論 I a・I b、日本語研究指導、日本語教育学総論

### [研究活動]

〈研究テーマ〉日本語能力評価、非漢字圏日本語学習者における漢字処理

〈所属学会〉日本言語学会、日本語教育学会、小出記念日本語教育研究会、言語科学会

### [研究業績]

#### 〈論文〉

- ・「非漢字圏日本語学習者の漢字学習ストラテジー」『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』
- ・「語彙能力測定のための用法問題の開発」『九州大学留学生センター紀要』27
- ・「語彙能力と漢字読み能力は漢字筆記能力にどのように影響しているか」『九州大学基幹教育紀要』5
- ・「日本語学習者の二字漢字語の書字認知の特徴-非漢字系学習者と漢字系学習者との比較から-」『日本語・日本文化』46
- ・「非漢字圏日本語学習者による漢字の書字的認知処理における語彙知識の影響」『タイ国日本研究国際シンポジウム 2018 論文集』

#### 〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「日本語学習者の二字漢字語の書字認知に影響する諸要因」JSLs2018 (2018年8月2日)、文京学院大学
- ・「非漢字圏日本語学習者による漢字の書字的認知処理における語彙知識の影響」タイ国日本研究国際シンポジウム 2018 (2018年8月25日)、タイ・チュラーロンコーン大学
- ・「非漢字圏日本語学習者の漢字学習ストラテジー」ハノイ大学日本語学部 2018年国際シンポジウム (2018年10月17日)、ベトナム・ハノイ大学
- ・「日本語学習者による二字漢字語の書字的認知処理の特徴」第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム (2018年12月9日)、香港・香港理工大学

#### 〈研究助成〉

- ・平成28年度～30年度科学研究費補助金若手研究(B)「非漢字圏学習者の漢字語彙学習の成功に影響する要因の解明：効果的な学習支援のために」(研究代表者：大和祐子、課題番号：16K21145)、研究代表者

### [その他の活動]

〈学会活動〉小出記念日本語教育研究会編集委員、日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校「日本語教師養成講座」講師

## 高井 美穂 (TAKAI Miho) 講師

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学基礎論 I A・I B、日本語教育学研究総論

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の会話分析

〈所属学会〉日本語教育学会、社会言語科学会、日本語プロフィシエンシー研究学会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「友人間の雑談における好みの変化を報告する行為にみられる日本語母語話者の規範」『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』ハノイ大学出版、pp.40-51
- ・「『価値観が異なること』を通して可視化される共-成員性—日本語母語話者の友人間の雑談におけるライフプランをめぐるやりとりの会話分析—」『タイ国日本研究国際シンポジウム 2018 論文集』

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「『価値観が異なること』を通して可視化される共-成員性—日本語母語話者の友人間の雑談におけるライフプランをめぐるやりとりの会話分析—」タイ国日本研究国際シンポジウム 2018（2018年8月25日 於 チュラーロンコーン大学）
- ・「友人間の雑談における好みの変化を報告する行為にみられる日本語母語話者の規範」第3回国際シンポジウム「グローバル化時代における日本語教育と日本研究」（2018年10月17日 於 ハノイ大学）
- ・「日本語母語話者の友人間の雑談における価値観をめぐるやりとりのしくみ」神戸女学院大学大学院文学研究科比較文化学専攻「総合演習」2018年度後期講演会（2019年1月25日 於 神戸女学院大学）
- ・「日本語を母語とする大学生の雑談における価値観の相違—例外として語られる経験と共-成員性への指向—」第34回日本語日本文化教育研究会（2019年3月9日 於 大阪大学中之島センター）
- ・「好みの変化の打ち明けにおける『親しさ』の可視化—関係構築のための日本語会話教育に向けて—」第2回タマサート大学・大阪大学日本語教育ジョイントセミナー（2019年3月21日 於 マヒドン大学）

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化専攻学務専門部会委員

## 李 偉 (LI WEI) 特任助教

[教育活動]

〈学部教育担当科目〉日本語 11、外国語教育 (N)

[研究活動]

〈研究テーマ〉

- ・ 中国の日本語教育における CEFRCEFRCEFRCEFR—CV の応用ため基礎研究
- ・ 日本語の受身文習得促進ため脈構築方法について

〈所属学会〉 日本語教育学会、中国語教育学会、日本語誤用と日本語教育学会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 李偉 (2018) 「中国人技能実習生・研修生について」日本語学習者の日本語・日本文化理解に関する評価のための基礎研究報告書 (代表者: 真嶋潤子教授) 『外国人技能実習制度と日本語教育の現在』第 2 章 pp.41-59
- ・ 李偉 (2018) 「中国人技能実習生・研修生から学ぶこと」『外国人技能実習制度と日本語教育』予稿集 pp.20-24
- ・ 李偉 (2018) 「対訳データに基づく中日受身表現の比較対照研究」『日本語・日本文化研究』第 28 号 pp.24-43
- ・ 李偉 (2019) 「中国人学習者への日本語の受身文指導に関する一考察—日本語教科書とコースパスの調査を通して—」『外国語教育のフロンティア』第 2 号 pp.143-157
- ・ 李偉 (2019) 「中国で出版されている日本語教科書における受身の扱いをめぐる考察」『日本語教育学会 2018 年度第 6 回支部集会【関西支部】予稿集』pp.16-21
- ・ 久保亜樹・千々岩宏晃・李偉 (2019) 「補助動詞「テアル」の用法の分類—「書いてあった～」の場合—」『阪大日本語教育学研究』第 10 号

〈書評・論評・紹介〉

- ・ 李偉 (2019) 「赴任 1 年目を振り返って」『日本語教育講座年報 2018-2019』

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 李偉 (2018) 「中国人技能実習生・研修生から学ぶこと」『外国人技能実習制度と日本語教育』研究報告会 (7 月 16 日 於: 大阪大学中之島センター) 口頭発表
- ・ 李偉 (2019) 「中国で出版されている日本語教科書における受身の扱いをめぐる考察」日本語教育学会 2018 年度第 6 回支部集会【関西支部】口頭発表 (3 月 23 日 於: 武庫川女子大学)

[日本文化学]

加藤 均 (KATO Hitoshi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文化学研究総論、日本文化研究指導、比較思想研究I、比較思想特別研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉 近世・近代日本における仏教改革者の思想

〈所属学会〉 日本印度学仏教学会、日本宗教学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター副センター長

〈学会活動〉 日本印度学仏教学会理事

### 水田 明男(MIZUTA Akio) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本経済入門、経済書購読、経済学報告の仕方、論文作成指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ロシアにおける社会政策

### 五之治 昌比呂 (GONOJI Masahiro) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文学特別研究 A・B、比較文学研究ⅡA・ⅡB、日本文化研究指導 A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本における西洋古典の受容

〈所属学会〉 日本比較文学会、日本西洋古典学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター総務委員会委員長、施設マネジメント委員会委員

### 岩井 茂樹 (IWAI Shigeki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文化論

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本における「表情」の文化史的研究

[研究業績]

〈論文〉

- ・「幽霊画の視線—幽霊はなぜこちらを向くのか？」『タイ国日本研究国際シンポジウム 2018』  
チュラーロンコーン大学・大阪大学、2019年3月  
〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・「幽霊画の視線—幽霊はなぜこちらを向くのか？」タイ国日本研究国際シンポジウム 2018、  
2018年8月21日、於：チュラーロンコーン大学
- ・「茶道具における歌銘由来歌出典巧—大名茶人・松平不昧を例に一」日本語日本文化教育  
研究会、2018年10月6日、於：大阪大学中之島センター

- ・「浮世絵の視線—役者絵の場合」第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム、2018年12月8日、於：香港中文大学

#### 佐野 方郁 (SANO Masafumi) 准教授

##### [教育活動]

〈研究科担当科目〉比較社会研究、日本文化研究指導、日本歴史学特別研究

##### [研究活動]

〈研究テーマ〉近現代日本の国際関係に関する研究、戦後日本の史学史に関する研究、倉富勇三郎日記研究

〈所属学会〉史学研究会、日本国際政治学会

##### [研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「戦後京都府下山城地域の自治体史編さん事業の環境—その担い手と事業内容の分析を中心に—」、同志社大学人文科学研究第10研究会「歴史学の成り立ちをめぐる基礎的研究—現場と公共性—」、2019年2月17日

##### [その他の活動]

〈社会貢献活動〉大阪YWCA日本語教師養成講座講師、京田辺市史編さん専門部会会員

#### 柴田 芳成 (SHIBATA Yoshinari) 准教授

##### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本文学特別研究、日本文学研究、日本文化研究指導

〈学部教育担当科目〉日本文学史

##### [研究活動]

〈研究テーマ〉日本古典文学

〈所属学会〉説話文学会、仏教文学会

##### [その他の活動]

〈学内委員〉日本語日本文化教育センター学務委員会委員

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会運営委員

#### 松村 薫子 (MATSUMURA Kaoruko) 准教授

##### [教育活動]

〈研究科担当科目〉比較思想研究ⅡA、比較思想研究ⅡB、日本文化研究指導A、日本文化研究指導B

〈共通教育担当科目〉

##### [研究活動]

〈研究テーマ〉袈裟や素材にまつわる怪異伝承研究、絵本や漫画にみられる妖怪の表象に

ついでの研究

〈所属学会〉 日本民俗学会、現代民俗学会、日本宗教学会、比較日本文化研究会、日本語  
日本文化教育研究会、密教図像学会、京都民俗学会

[研究業績]

〈論文〉

・「絵本における表象と影響—現代における妖怪イメージの形成を中心に—」『文化を映す  
鏡を磨く』せりか書房、2018年07月

・「아동용 그림책으로 보는 요괴관의 변천」(子ども絵本に見る妖怪観の変遷)『요괴—또

하나의 일본의 문화코드—』역락, 2019年02月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・口頭発表「子ども絵本に見る妖怪観の変遷」漢陽大学校共同学術シンポジウム「妖怪」  
もう一つの日本の文化コード(於:漢陽大学校(韓国)): , 2018年08月25日

・基調講演「怪異が発生する空間」アジア日本研究ネットワーク第4回会議「日本文化に  
おける「空間」」(於:チュラロンコーン大学(タイ)), 2019年3月30日

[その他の活動]

〈学会活動〉 比較日本文化研究会運営委員、日本語日本文化教育研究会事務局

〈社会貢献活動〉 愛知県立大学集中講義講師

## 水野 亜紀子 (MIZUNO Akiko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文学研究、日本文化研究指導、日本文学特別研究

〈学部教育担当科目〉 日本文化学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本近代文学

〈所属学会〉 日本近代文学会、大阪大学国語国文学会

[研究業績]

〈論文〉

・「「上級読解」の実践報告」『授業研究』第17号、大阪大学日本語日本文化教育センター

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「明治時代への批判—芥川龍之介「ひよつとこ」を例として—」第12回国際日本語教育・  
日本研究シンポジウム(香港理工大学)2018年12月8日

[その他の活動]

〈学会活動〉 大阪大学国語国文学会運営委員、樋口一葉研究会運営委員



永原 順子 (NAGAHARA Junko) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文化研究Ⅱ AB

〈共通教育担当科目〉 世界の中の日本語日本文化

〈学部教育担当科目〉 日本文化概論、日本事情演習 a、日本文化学講義Ⅲab、日本文化学演習Ⅳab、日本語 1、日本語 14、日本語 1b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本文化論、宗教民俗学

〈所属学会〉 日本宗教学会、京都民俗学会、岡山民俗学会、土佐民俗学会、日本高専学会、水難学会、日本伝統音楽研究センター研究会、比較日本文化研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「芝居絵がもたらしたもの—高知県香南市赤岡町の「絵金」を例に一」、永原順子、『日本研究論集』、第 17 号、p.1~13、2018 年 4 月
- ・「比国水難と怪異伝承との関わり」、永原順子、『季刊ういてまで』第 13 巻第 2 号、p.33~34、2018 年 5 月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「芸能の身体 ～方便としての“信頼”～」、人工知能と倫理・社会に関する研究会「AI と信頼」、2018 年 6 月 9 日、於 国際高等研究所
- ・「Bibliobattle Game: A Reading Competition Game」、International Simulation and Gaming Association (ISAGA) 49th Conference、2018 年 7 月 10 日、於 Mahidol University, Thailand
- ・「怪異伝承と水難防止教育との関わりについて」、タイ国日本研究国際シンポジウム 2018、the International Symposium on Japanese Studies 2018、2018 年 8 月 25 日、於 Chulalongkorn University, Thailand
- ・「パネル 技術社会と宗教—人工知能の実装化が持つ宗教的意義について—」、担当「機械は魂を持ち得るか—からくり人形に見る擬人化のかたち—」、日本宗教学会第 77 回学術大会、2018 年 9 月 9 日、於 大谷大学
- ・「目に見えないモノたちの世界から From the invisible world」、アートと考古学国際交流研究会、2018 年 10 月 6 日、於 福島県庁南再エネビル／ギャラリーオフグリッド
- ・「「日本の妖怪と水災害」 The Relationships between YOUKAI (Japanese Monsters) and Water Disaster」、Uitemate 国際女性講習会、2018 年 10 月 31 日、於 Jakarta BASARNAS, Indonesia
- ・「「謡 (うたい)」文化の意義 Significance of UTAI (traditional song) in Japanese culture」、第 12 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム、2018 年 12 月 8 日、香港理工大学、香港
- ・「「日本の妖怪と水災害」 The Relationships between YOUKAI (Japanese Monsters) and Water Disaster」、Exchange the acknowledge between Thailand and Japan in the process of drowning prevention、2019 年 3 月 8 日、於 100 Year Public Health Building, Surin Hospital, Thailand

- ・「怪異伝承と水難事故との関わり～日本および ASEAN 諸国での調査をもとに～」、2019 年中日妖怪シンポジウム、2019 年 3 月 23 日、於 中国民俗学会事務局 / 北京東嶽廟（東岳廟）、中国

〈研究助成〉

- ・基盤研究(B)「日本発の防災教育 uitemate の ASEAN 地域を中心とした普及状況調査」、2017 年度～2019 年度、研究分担者
- ・共同研究「学際的視点を持たせる地域連携教育研究」、株式会社坂本技研、2018 年 11 月～2019 年 10 月

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化専攻委員会（学務専門部会委員）、国際交流委員会委員

〈学会活動〉 比較日本文化研究会理事

〈社会貢献活動〉 大阪大学社会学共創クラスター「マンスリー多文化サロン」構成員、「能入門」出張講義、Handai-Asahi 中之島塾講師